

介護事業所 ICT 導入計画

令和 年 月 日

(※)

報告担当者・氏名

報告担当者連絡先 (TEL)

担当者メールアドレス

法人名	介護サービス事業所名	サービス種別	職員数
「魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま制度」の認証状況			
1. 認証済	2. 申請中	3. 検討中	4. 申請予定なし
これまでの介護事業所 ICT 導入補助金 利用状況		初回・2回目～	
「LIFE」の利用申請状況			
1. 申請済	2. 申請中	3. 検討中	4. 申請予定なし
独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) 実施の「SECURITY ACTION」の宣言		★一つ星・★★二つ星	
データ連携の有無	連携先	連携方法	
有 ・ 無			
導入する ICT の製品名		導入 (セット) 数	
※介護ソフトの CSV 連携標準仕様		1. 実装	2. 未実装
文書量削減 見込まれる削減割合 (4～5割)			
・削減対象となる文書 (該当に○) (例を具体的に記載すること。)			
○	利用者ごとの計画作成や記録に係る書類 (例: アセスメントシート、サービス担当者会議録)		
○	介護報酬の請求に関する文書 (例: サービス提供表、介護給付費明細書)		
	実施記録 (例: 送迎の記録、入浴の記録)		
	加算に係るチェックシート、スクリーニング様式等 (例: 各種スクリーニング様式等)		
	その他		

【ICT 導入に至る経緯・意義・目的】

- ・現在はサービス提供の記録を手書きで行っているが、タブレット端末を用いて業務のすきま時間に入力が可能となることで、職員の記録業務負担軽減となり、利用者へのケアサービスの質を向上させることができる。
- ・介護記録を紙媒体での管理から電子媒体での管理に切り替えることで、記録から請求まで一気通貫のシステム連携を可能にし、業務全体の効率化を図る。

【ICT の使用計画】（概ね3年間の使用計画を記入すること。）

【ICT 導入により達成すべき目・期待される効果等】

- ・一気通貫となることで転記ミスが減少する。異なる書類に同じ内容を手書きで記載することがなくなり、記録業務の負担が削減する。
- ・記録時間の削減により職員間や他事業所間の連携時間が増え、情報共有が取りやすくなり、質の向上に繋げることができる。
- ・実績をCSVファイルで出力できるようになるため、居宅介護支援事業所への連携を効率的に行うことができる。

【導入体制】 1 導入を進めるための実施体制

管理者：導入計画・研修計画の作成，効果検証

主任：利用者・関係者への説明，業務フロー見直し取りまとめ

ICT研修担当：職員研修の実施

今後の運用ルール，介護ソフトでの記録のルール等は，週1回定期開催の事業所ミーティングで検討時間を設け，実際に使用する職員の声を取り入れて見直す。

【導入体制】 2 導入スケジュール

6月：導入計画の作成（機器の検討，機器導入後の業務フロー作成）・職員への説明

7月：機器の導入準備（業務フローの作成）

8月～9月：機器導入の試験期間，業務見直し書作成，職員向け導入研修開催

10月～11月：本格稼働，LIFEへのデータ提供準備

2月～3月：検証及び見直し，LIFEへのデータ登録開始

【導入体制】 3 業務フロー見直し計画

① ICT機器・ソフトウェアを活用することによる抜本的な業務効率の改善

・通所介護計画に基づく日々の介護記録，利用者の連絡帳，申し送り（特記）に転記していたサービス提供の記録を介護ソフトの導入により転記不要となるよう記録の範囲を検討する。

・導入前の記録に要した業務分担を洗い出し，導入後の業務分担をシュミレーションし，記録にかかる時間の短縮をどれだけできるか，検討する。

・上記を可視化し，職員はもとより，利用者，関係者に説明できるようにする。

② サービスの質向上

・記録を速やかに情報共有し，利用者へのサービス向上を図るための体制を構築する。

・通所サービスが，利用者の状態の維持・改善に寄与しているか，自立支援につながっているかを確認するため，利用者の状態をデータに継続的にとり，科学的介護情報システム（LIFE）の活用を行う。

【導入体制】 4 職員への説明及び習熟期間について

- ・ I C T機器・ソフトウェア導入に伴う計画の合意形成を図る説明会（研修会）を実施する。
- ・ 導入時，導入機器業者からの取扱講習会（入力方法，データの見方，請求までの流れ）当を実施する。
- ・ 約 1 か月間の試験（準備）期間による習熟期間を設ける（ I C T研修担当の設置）。

【導入体制】 5 職員への研修について

- ・ 操作研修： 8 月に実施予定。職員及び請求担当者を対象とし，導入業者による講習会を 2 回開催予定。
- ・ 試験期間研修： 10 月～11 月に実施予定。研修担当者による職員の O J T を行う。内容は，タブレット操作方法，介護ソフト操作及び業務改善について扱う。

(※) 日付部分には、書類の作成日を記載すること。

(※) 「データ連携」とは、既存の情報共有システムやデータ連携サービスを利用して、同一事業所内に加えて、異なる事業所間や地域の関係機関間においても居宅サービス計画書等のデータ連携を行うこと